

《ポイント》

- アレバロ大統領は米国陸軍工兵隊(USACE)による協力の下で実施する鉄道網再活性化計画に関し、大統領をトップとする委員会を発足させ計画推進への意欲を示した。
- アレバロ大統領は、シェインバウム墨大統領との首脳会談を実施し、国境及び移民対策における協力強化等で一致した。メキシコ側から、マヤ鉄道のグアテマラへの延伸可能性についての言及があった。
- グアテマラ・メキシコ・ベリーズ首脳会合において熱帯雨林保全に関する共同宣言が発出された。
- 米国系コンソーシアムがグアテマラに 3 億ドル規模のデータセンター建設計画を発表。
- IMF はグアテマラ経済を安定的と評価しつつ、格差是正、法整備、汚職撲滅等が更なる成長への課題と指摘。
- 7月までの郷里送金は前年同期比 20%増、約 145 億ドルの過去最高額を記録。
- 上半期の輸出総額は前年同期比 10%増で堅調な伸びをみせている。

《本文》

1 内政

(1) アレバロ大統領、鉄道網再活性化構想に意欲

ア 8日、アレバロ大統領は、米国陸軍工兵隊(USACE)による協力の下で行う国内鉄道網の再活性化に向けた準備の一環として、大統領をトップとする鉄道再活性化大統領委員会(Comité Presidencial para la Reactivación Ferroviaria:Coprefe)を発足させ、同計画への意欲を示した。同計画は、現在活用されていな 400 キロメートル以上に及ぶ既存の鉄道網の再活性化計画であり、太平洋と大西洋の港湾、メキシコ・エルサルバドルとの国境を結ぶ物流ルートの構築を目指すもの。USACE による予備調査報告書によると貨物・旅客輸送、首都圏鉄道の再開可能性が示唆されている。

イ 11日、アレバロ大統領は定例記者会見において、メキシコの「マヤ鉄道」への接続を目指しており、ベリーズを経由する鉄道路線の検討や、太平洋岸のメキシコチアパス州とマヤブ州を結ぶ路線との接続も視野に入れている旨述べた。

(2) 政府は石油採掘契約が期限を迎えた油田関連施設を国有化

12日、政府は、国内最大の生産量を誇るペテン県サン・アンドレスに所在する Xan 油田に係るペレンコ・グアテマラ社との 40 年にわたる契約を期間満了により終了した。今後 Xan 油田とその関連施設、小規模精油所「ラ・リベルタッド」、石油輸送システム(SETH)などが国有化される。

政府は、59 箇所の油井の技術的閉鎖に約 5000 万ドルの予算を計上しており、閉鎖作業には 3 年を要する見込み。Xan 油田は一旦閉鎖するが、環境関連の法令を遵守した上で再稼働される可能性も残っている。また、精油所と石油輸送システムについては、運営を引き継ぐ企業の募集が行われる見込みである。

## 2 外交

### (1) マルティネス外相コメント: 米国における不法移民臨時拘留施設へのグアテマラ人の収容について (往電第578号)

米トランプ政権が7月初旬に開設したフロリダ州の不法移民臨時拘留施設「アリゲーター・アルカトラズ」にグアテマラ人非正規移民約 250 人が収容されている事案について、マルティネス外務大臣は13日、CNN(スペイン語)のインタビュー番組に出演した。同大臣は、グアテマラ人 249 名の収容環境は、エアコン設備、1日3食の提供、15 分/日の電話が確保されており、一部で報道されているような劣悪なものではないが、拘束されている状況自体が望ましくないと述べた。

### (2) グアテマラ・メキシコ首脳会談: 国境と移民対策で協力強化へ (往電第584号)

ア 15日、アレバロ大統領はシェインバウム・メキシコ大統領とグアテマラ側国境付近のペテン県において首脳会談を実施し、両首脳は移民支援のための対応枠組みの策定で一致した。シェインバウム墨大統領は、メキシコ国内のグアテマラ人移民への労働査証に関する制度改善を検討中と表明した。

イ 国境地帯の治安について、両国は閣僚レベルの協議メカニズムを再開し、10 月にメキシコにおいて協議を実施することで一致した。

ウ シェインバウム墨大統領はグアテマラ及びベリーズへのマヤ鉄道延伸に言及した。アレバロ大統領は、これに賛同した上で、同鉄道網の拡張を通じた地域間の連携強化が、経済発展と持続可能な開発に寄与すると述べた。

### (3) グアテマラ・メキシコ・ベリーズ首脳会合: 熱帯雨林保全に関する共同宣言を発出 (往電第585号)

15日、アレバロ大統領はシェインバウム墨大統領との2国間首脳会談の後、同墨大統領とともに墨カンペチェ州カラクムルに移動し、プリセーニョ・ベリーズ首相を加えた3か国首脳会合を行った。首脳らは三カ国を跨ぐ熱帯雨林 570 万ヘクタールの動植物の保護、遺跡の保全、経済の強化を目的とした「マヤ大熱帯林生物文化回廊カラクムル宣言 (Declaracion de Calakmul Corredor Biocultural Gran Selva Maya)」に署名した。アレバロ大統領は、同宣言は3か国の先住民コミュニティの人権擁護及び文化保護と共に、熱帯雨林の持続可能な利用を促進するものであると述べた。

### (4) グアテマラ・ベリーズ間で治安と貿易に関する閣僚会合を開催

19日、外務省は、グアテマラとベリーズの間で治安と貿易に関する閣僚会合を開催した旨プレスリリースを発出した。同会合にはグアテマラ側からマルティネス外務大臣、ヒメネス内務大臣、サエンス国防大臣、ベリーズ側からムサ内務・新成長産業大臣、ミラ国防・国境安全保障大臣、マイ外務副大臣等が参加。同会合では、国際組織犯罪や麻薬取引への対策を強化に向けた協力が確認された他、貿易、観光、投資の促進を通じて二国間関係を深化させることで一致した。国境手続きに関し、税関の業務時間統一や新たな協力プロジェクトについての協議も行われた。

### 3 経済

#### (1) IMF はグアテマラ経済を安定的と評価、更なる成長への課題を指摘 (往電第613号)

6日付当地主要各紙は、国際通貨基金 (IMF) との4条協議の最終報告書の内容等を以下のとおり報じた。

ア 2023 年の経済成長率は 3.5%であり、中期的には 3.8%の潜在的成長力を有する。直近のインフレ率は 3.6%であり、金融政策目標の±4%の想定内にとどまっている。また、2023 年の経常収支は旺盛な郷里送金等に支えられ 3.1%の黒字を記録。

イ グアテマラ経済の安定と力強さは慎重な金融・財政政策、インフレターゲットの達成、潤沢な外貨準備、債務残高の低さ等に起因すると説明。

ウ 一方でグアテマラ経済は米国の労働市場動向、一次産品価格の急激な変動、自然災害、サイバー攻撃等のリスク要因があると指摘し、更なる成長に向けては、格差を是正する大規模な投資 (インフラ、教育、保健、社会保障分野)、経済関連の法整備、汚職の防止等が必要と指摘。

エ グアテマラ財務省及び中央銀行は同報告書の発表を受け、グアテマラの経済見通しは引き続き楽観的としつつ、米国の経済パフォーマンスに関連するリスクがあるとコメントした。

#### (2) 台湾の半導体専門家がグアテマラによる同分野への参入可能性に言及

6日付けプレス・リブレ紙電子版は、ジェフ・リン台湾工業技術研究院 (ITRI) の副院長によるインタビューを掲載。同副院長は、グアテマラと台湾の良好な外交関係に加え、米州における地理的優位性を強調し、集積回路 (IC) の設計やモジュール・最終組立行程でグアテマラが半導体バリューチェーンに参加し得るとの可能性を示した。

#### (2) 米国コンソーシアムがデータセンター建設計画を発表 (往電第570号)

7日付当地主要紙プレス・リブレは、米国系コンソーシアムが、3億ドルを投資し、グアテマラにラテン・アメリカ初となる最先端レベル (第4世代) のデータセンターを建設することを決定した旨報じた。米国企業 2 社から成るコンソーシアムによると顧客は大手テック企業や各国政府機関を見込んでおり、2026 年半ばの稼働を目指している。5、6 年の間に投資規模を 10 億ドルに拡大させる計画もある。当国が本件計画の建設地に選定された要因として、グアテマラ市の良好な電力事情、当国政府による電力拡張計画 (PEG-5 等)、政治の安定性、通貨の安定性、米国政府による

サポート等を挙げている。

(3) 7月までの郷里送金額が過去最高額を更新

2025 年7月までの郷里の送金額が過去最高を記録し、前年同期比で 20%増加し、144 億 9,370 万米ドルに達した。本年後半も安定的な推移が見込まれており、グアテマラ中銀は、2025 年中の送金総額は史上最高額を記録した前年の 215 億 1,020 万米ドルを上回ると予測している。。

(4) 中米経済統合銀行(BCIE)、中小企業向けに 6000 万ドルを融資

19日、中米経済統合銀行(BCIE)は、グアテマラに対し 6,000 万米ドルの融資を承認し、国営金融機関である国家信用銀行(CHN)を通じて資金を供与することを決定した。同融資は中小企業、とりわけ女性主導の事業、社会住宅プロジェクト、戦略的生産部門の支援を対象とする。BCIE 関係者は約 125 社と 1,157 人に恩恵をもたらし、9,000 人以上の雇用創出・維持へ寄与すると述べた。

(5) グアテマラの上半期輸出総額が前年同期比 10.2%増を記録

25日付プレス・リブレ紙は、2025 年上半期のグアテマラの輸出の伸びについて報じた。輸出総額は前年同期比 10.2%増の 81 億 9,170 万米ドルに達した。主要製品については、コーヒー(71.7%増)、砂糖(42.4%増)、バナナ(2.4%増)は伸びた一方、衣料・繊維(2.1%減)、カルダモン(35.3%減)等は減少した。米国による関税の影響は本格的には現れておらず、本年後半により強く現れることが予想されている。グアテマラ中銀及び輸出業者協会(Agexport)は、2025 年の輸出総額は 6%以上の成長を確保できるとの見通しを示している。

#### 4 経済協力

台湾が社会支援事業用及び警察用車両を無償供与(往電第604号)

ア 22日、当地台湾「大使館」は、当国社会開発省が進める社会支援事業「手から手へ(Mano a Mano)」に使用する人員・物資の輸送用車両(18tトラック15台、ピックアップトラック30台)を無償供与した。同事業は、住居改善(家屋土床のセメント打設、浄水器設置等)、栄養・学校給食支援、小規模農家向け肥料・種子の配布、保健所整備などを行うもの。アレバロ大統領は式典において本件寄贈は両国の友情の表れであり、台湾厚意に感謝し支援を必要とする人々の尊厳を守り、生活基盤を充実させていくと発言した。

イ 25日、台湾「大使館」は、国家文民警察に対し警察用オートバイ252台を供与した。ヒメネス内務大臣は、街中の恐喝対策で即効性を有するとして謝意を表明した。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2025 年		2024 年	2023 年
	8月	7月		
インフレ率(前年同月比)	1.60%	1.66%	2.88%	6.27%
貿易収支(百万ドル)	△1,591.10	△1,835.5	△17,928.9	△16,124.2
輸出(百万ドル)	1,237.6	1,281.4	14,561.4	14,194.3
輸入(百万ドル)	2,828.7	3,116.9	32,490.3	30,318.5
外貨準備高 (百万ドル)	30,024.7	29,034.2	22,452.4	21,319.4
外国からの送金(百万ドル)	2,390.0	2,366.0	21,510.2	19,804.0
為替レート(対ドル月平均)	7.66	7.69	7.76	7.85